

仁雄会
穂高病院
広報誌

ふんあひ

2016

11

No.31

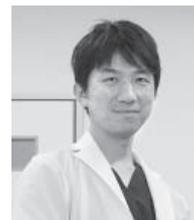
- 私と夜空
- 病院祭
- 委員会紹介「輸血療法委員会」
- 第34回全国新作花火競技大会
- 災害時救護訓練に参加して
- 緑の基金より表彰を受けました
- 秋の全国交通安全運動



撮影：大久保 喜雄

私と夜空

産婦人科医師 古川 哲平



早いもので穂高病院に就
職し2年半が経ちました。

その間1200人以上が
産まれ、200件以上の帝王
切開をさせていただく
切開をしたと思つたそれなり
の年月に感じます。非常に怖い思いをするお産も何
件もありましたが、皆様の支えがあり今日こうして
仕事を続けていられることに感謝しています。
今回仕事とは関係なく、少しだけ趣味の事を書か
せていただこうと思います。

実は私は、星空をみるのが好きです。少し気恥
ずかしいのですが、星座神話の本を読むのが好き
です。

神話を心から信じているわけではありませんが、
古くからその神話を信じて星を眺めていた人々が
いたことは事実であり、時には北極星を目標に航海
中の船乗り達が神話について考えたり、時にはカッ
ブル達が星空を見ながらロマンティックな神話を語
り合ったり、色んな時代の色んな人達が様々な想い
で星空を眺めてきたことを思うと、何とも感慨深い
ではありませんか。

おおへま座(北斗七星がしっぽです)とおへま座
は、北極星の近くでその周りをぐるぐるまわって
いますが、他の星はみな1日に一度は空をめぐって
海に入り、ひと休みできるけれども、この母子熊の
星座だけはたえず北の空をめぐって一度も休むこと
ができないのです。産婦人科医になりましたので非常に
辛かった頃、おおへま座を見ながら、「すつと沈む

ことができなくてかわいそうだな。全く休めない俺
も同じだな。」そんな事を考えながら家路について
いたことを思い出します。自分が10代の時、20代の
時、こんな想いでこの星を見ていたか、結構覚えて
いるものです。

星座だけでなく月も見ます。月にも海(当然水は
ありません)・山脈・谷・クレーターがありそれぞれ
名前が付いています。うさぎの耳の部分は「豊かの
海」と「神酒の海」で、うさぎの顔は「静かの海」と
言つてくれます。最も目立つクレーターは(双眼鏡を
使って見ることもきれいです)。餅つきの際の先
あたりになりますが、皆さん耳にしたことがあると
思います。コペルニクスといえます。あの地動説を
唱えたコペルニクスにちなんでつけられました。満
月の夜は「コペルニクスがきれいだな。今日はお産
が多いかな」なんて思いながら寝るのです。

先日は息子と土星を見ました。私がついている安
い天体望遠鏡ではほんとに小さく見えるだけです
が、しっかりと環も見ることが出来ます。あの愛ら
しい麦わら帽子をかぶったような姿、美しくも神秘
的な姿を見れば感嘆の声をあげない人はいないと思
います。さすがに息子も感動した様でした。

こういったことで、夜空にまつわる色々な話を知って
いるとなかなか楽しいです。物事は何でもそうですが、
知らずに見る景色と知って見る景色は全く
違いますね。

最後に、医療従事者は自分の専門分野に関して
知らない事があつてはなりません。知らない病気を
診断する事は絶対にできないのです。我々は学ぶ気
持ちは止めたいけません。おおへま座を見ながら
帰っていた頃の研修病院の先生が仰っていた言葉で
す。

『第11回病院祭』

10月23日、さわやかな秋空の下、常念太鼓の元気で息の合った演奏が響き渡り、古屋直行院長の開会の言葉で第11回病院祭が始まりました。今年初参加の常念太鼓は幼い子供から中学生までが参加し、演奏を披露しました。

4階のイベント会場では、穂高西中学校の吹奏楽の皆さんによる軽快で親しみやすい演奏や、穂高南小学校の合唱部の皆さんによる美しく優しい合唱が行われ、満員の会場は大いに盛り上がりました。

体験コーナーはストレス度チェック、拡大読書器体験、血糖測定、血圧測定、ロコモ度テストの他にも、腹腔鏡操作による手術体験や制服体験などの子供も楽しめる盛りだくさんの企画でした。特に今年の新コーナーのロコモ度テストは、大勢の方が訪れ皆さん真剣に取り組んでいました。

バザー会場では開始前から長蛇の列ができ、開始と同時に大賑わいとなりました。職員作品展では力作が勢揃いとなりました。パネル展示コーナーは、ロコモティブシンドロームの説明と穂高病院50年の歩みの紹



介でした。

喫茶コーナーの軽食や駐車場オープンしたフランクフルト・カレー・タピオカミルクティーの屋台も大盛況でした。

午後からは、当院整形外科医の古川雄一郎医師による講演会が催され、テーマは「寝たきりにならない為のロコモティブシンドローム」でした。講演の中では予防体操を交えた理学療法士の話もあり、毎日無理なく楽しく安全に出来る体操を是非継続出来ればと思います。

今年には病院開設50年ということで、病院祭の締めくくりは記念講演でした。古屋直行院長からは、スライドを交えた開院から50年間の歴史の紹介と病院の未来についての講和がありました。最後は古川稷理事長の笑いこぼれるお話。感動のうちに病院祭は幕を閉じました。

今年も沢山の方々に足を運んで頂きありがとうございました。また来年も楽しみにして頂ける病院祭が出来るようにしたいと思います。(外来 千葉恭代)

委員会紹介

輸血療法委員会

輸血療法委員会は2ヶ月に一度開催され、輸血を行った人の状態や、その後の検査で異常が無かったかを報告しています。急な出血で貧血になった場合、輸血療法を行います。患者さんの血液と、日本赤十字社から届けられた血液が適合するかの検査をします。何人もの医療スタッフが何度も確認して安全に患者さんに輸血を行います。

輸血の後に患者さんの具合が悪くなっていないか？看護師は24時間、様子を見ています。また、輸血をしてから3ヶ月後に病院に来ていただき、採血をし、輸血後感染症の検査をしています。輸血する前に採血した患者さんの血液は冷凍庫で2年間大切に保存しています。

患者さんのことを常に考える、輸血療法委員会はとても大事な会議です。

(検査科 平林英之)

第34回 全国新作花火競技大会

9月3日(土)

に職員親睦会行事として諏訪湖の新作花火大会に行ってきた。一昨年、昨



年に続き3回目の企画となり恒例化しているイベントです。

参加者は昨年より多い81名。2台のバスに分かれて、15時に病院を出発しました。車内ではお菓子や飲み物が配られ、到着が待ちきれない職員の子供達の楽しそうな話し声が聞こえていました。

湖岸通りにはたくさんさんの屋台が並んでいて、打ち上げ開始までビールを飲んだり食べ歩いたり、皆思い思いにお祭り気分を楽しみました。19時に競技会がスタート。全国から集まった25人の花火師によって、斬新な発想の花火が音楽と共に打ち上げられました。作品ごとに諏訪湖の風景が一変し、夏の夜空を華やかに演出していました。特に最後の絢爛100連発と水上スターメインは圧巻です。格段に大きく、色鮮やかで圧倒される程



の美しさに大きな歓声が上がり拍手が鳴り止みませんでした。当日は半袖でも暑いくらいのお天気に恵まれ、1万8千発の豪華な花火をたっぷり堪能することができました。

(みのり会(職員親睦会)役員 荒深悦子)

災害時救護訓練に参加して

9月4日(日)

に安曇野市防災訓練が行われ、当院でも災害時医療救護訓練が実施されました。



地震の発生を想定した、災害時救護チームの参加訓練・院内の確認・初期消火訓練・消防への通報訓練・避難場所の確保・トリアージ訓練等を実施しました。



災害医療コーディネーターである古屋副院長より、当院は比較的軽症の患者さんを受け入れる施設であること、その際のトリアージの方法、災害時は全国から救護チームが派遣されてくるため、そういったチームとの連携が重要であること等のお話があり、各々の役割を理解して迅速に行動することの大切さを感じました。個人的には、消防への通報の際に冷静に対応できなかったことが反省点です。

近年、全国で地震や洪水等の自然災害による多くの被害が出ています。いざという時に被害を最小限にと

とめることが出来るよう、日頃の準備が大切だと感じました。

(災害時救護チーム 小林 宏子)

緑の基金より表彰を受けました

7月、毎

年寄付を続けていたとして公益財団法人長野県緑の基金



より表彰を受けました。緑の基金は寄附や募金箱などで集められた募金を森林整備や里山の整備などの緑づくりに活用している団体です。穂高病院は平成23年からこの基金に賛同し寄付を続けてきました。

贈呈式当日は穂高病院の環境管理責任者である古元毅事務局長と内川環境事務局が県庁を訪れ、基金の業務執行理事を務める池田秀幸県林務部長より県産材の杉で作られた感謝状を受け取りました。今年「山の日記念全国大会が長野県で開かれ、緑づくりに也大いに関心が集まっています。また安曇野でも松枯れ被害などが大きな問題になっています。緑豊かな安曇野にある穂高病院は「緑は未来の子供達に残さなければならぬ宝である」とし、これからも協力を続けていく予定です。

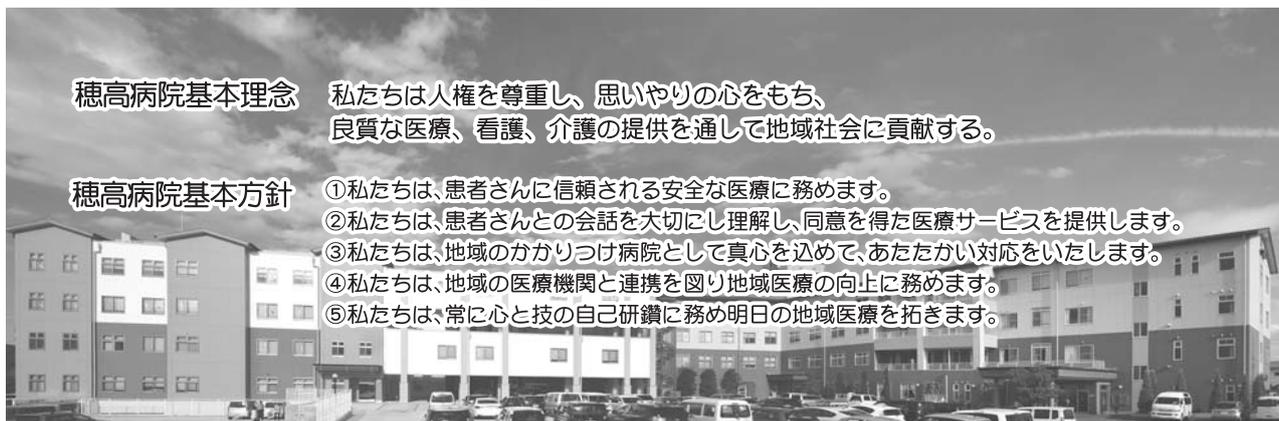
秋の

全国交通安全運動

今年も9月末から秋の全国交通安全運動が始まりました。期間中安曇野警察署の署員が街頭啓発活動の一環として穂高病院を訪れ、正面玄関前において交通事故防止に関するチラシ等の配布を実施しました。

今年も安曇野警察署管内で交通事故が多発し、安曇野市長から「交通死亡事故多発非常事態宣言」が発令されたこともあり、警察署員2名に加え、安曇野市役所からも職員2名が応援に駆けつけ、主に高齢者の事故防止啓発のため、来院された方に声をかけていました。





穂高病院基本理念

私たちは人権を尊重し、思いやりの心を持ち、
良質な医療、看護、介護の提供を通して地域社会に貢献する。

穂高病院基本方針

- ①私たちは、患者さんに信頼される安全な医療に務めます。
- ②私たちは、患者さんとの会話を大切に理解し、同意を得た医療サービスを提供します。
- ③私たちは、地域のかかりつけ病院として真心を込めて、あたたかい対応をいたします。
- ④私たちは、地域の医療機関と連携を図り地域医療の向上に務めます。
- ⑤私たちは、常に心と技の自己研鑽に務め明日の地域医療を拓きます。

診療案内

平成 28 年 11 月

診療時間

午前 9:00 ~ 12:30 午後 16:00 ~ 18:00

お問合せ

電話 0263-82-2474

◎木曜日・土曜日の午後及び、日曜・祝祭日は全科休診となります。

診療科目 / 曜日		月	火	水	木	金	土	
内科	(1診)	午前	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	
		午後	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	
	(2診)	午前	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	
		午後	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	
整形外科	午前	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)		
外科(乳腺・甲状腺)	午前	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)		
産婦人科	(1診)	午前	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	
		午後	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	
眼 科	(2診)	午前	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	
		午後	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	
総合診療科	毎週火曜日 9:00 ~ 12:30 上 條(剛)							
循環器科	完全 予約制	毎週月曜日・水曜日 9:00 ~ 12:30 信大医師						
禁煙外来		毎週火曜日 14:00 ~ 16:00 / 毎週水曜日 14:00 ~ 15:00 大久保						
形成外科		毎週水曜日 9:00 ~ 13:00 伴(緑也)(信大)						
上部内視鏡検査	古川(厚) 信大医師	古川(厚) 上 條(剛)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚) 信大医師	古川(厚)	
下部内視鏡検査	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	
ドック(12:50~)	信大医師 大久保	信大医師 村 山	古川(厚) 村 山	古川(厚) 村 山	古川(厚) 村 山	古川(厚) 村 山	古川(厚)	
特定健診(9:30~)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	
往 診(13:30~)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	

◎眼科受付時間:火曜 11:00 まで、土曜 12:00 までとなります。なお火曜午後は予約検査のみです。外来診療は行っておりませんのでご了承下さい。
◎内科は診療予約も行っております。(電話でも可)
◎人間ドックの予約も行っております。詳しくは健康管理センター直通 0263-81-1011 までお問い合わせ下さい。
受付時間 平日 8:30 ~ 16:30 / 土曜日 8:30 ~ 12:00



TEL 0263-82-2474(代) FAX 0263-82-7514
〒399-8303 長野県安曇野市穂高4634 URL <http://www.hotaka-hospital.or.jp>